

水稻湛水直播機に装着する作溝装置を改良しました

【1. 作溝装置を改良し、出芽が向上しました】

- 作溝同時直播装置における種子誘導装置の形状を写真3のように幅30mm、高さ10mmの船底形(H21型)に改良しました。これにより、播種した種籾の深さが安定し、出芽が揃う効果が得られるようになりました。

【2. 県内各地での適応性を確認しました】

- 県内7カ所で現地試験を行いました。H21型改良機は、市販作溝機(DS2N)に比べて、同等の播種精度を維持したまま、幅が広く深い排水溝を形成することができます。また、収量は、ほぼ同等から改良機がやや上回る事例が多くなりました。

【3. 装着可能な直播機について】

- この作溝装置は各社の多目的田植機型の高精度湛水直播機に取り付け可能です。
- 側条施肥機付き直播機に取り付ける場合の適応については現在検討中です。

【4. 装置の購入について】

- 装置は平成21年4月より県内の農業機械販売会社で販売を開始しています。受注生産となりますので、注文から手元に届くまで3週間程度を要します。



写真1 作溝装置による播種同時作業状況

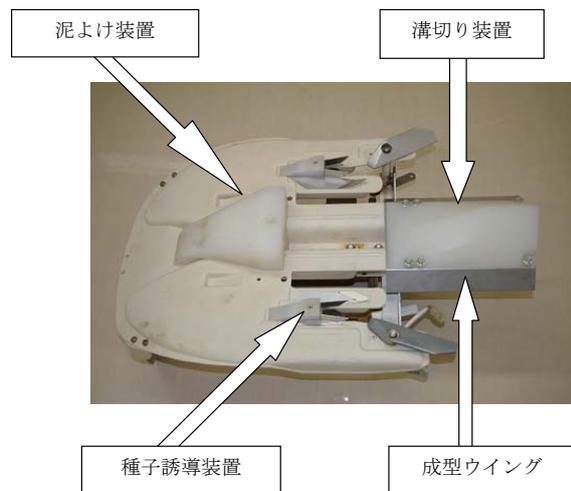


写真2 開発した作溝装置を構成する各パーツ

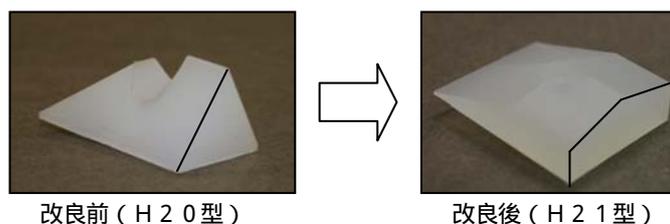


写真3 種子誘導装置の改良

担当研究室 プロジェクト推進室(水田農業)

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1 TEL. 0197-68-4412 FAX. 0197-71-1081